

2011年3月ドミニカ共和国内政・外交・経済定期報告

2011年4月26日
在ドミニカ共和国日本国大使館

当国2011年3月の内政・外交・経済に関する定期報告は以下の通り。

【概要】

1. 3月1日、フェルナンデス大統領は閣僚を含む政府職員人事の異動を行った。
2. 3月17日、フェルナンデス大統領は演説し、政府支出の12%削減を表明した。
3. 3月6日、野党PRD（ドミニカ革命党）は大統領選挙に関する党内予備選を実施したところ、メヒア元大統領がバルガス党首に勝利した。
4. 3月14日、与党PLD（ドミニカ解放党）は政治委員会を開催し、4月10日に大統領選挙に関する党内予備選の候補者を決定することで同意した。
5. 3月15日、アルブルケルケ副大統領はグアテマラを訪問しSICA定例会合に出席した。
6. 3月29日、オルギン・コロンビア外務大臣が当国を訪問し、フェルナンデス大統領と会談を行った。同会談において、両者はエネルギーや治安を中心とした二国間関係全般につき意見交換を行った。
7. 3月15日、中央銀行は2010年のマクロ経済指標を発表した。国内総生産（GDP）は516.576億USドル、一人当たりGDPは5231.6USドル、経済成長率は7.8%となっている。
8. 3月21-24日、IMFミッションが当国を訪問し、第5次スタンバイ協定のレビューに関する協議を当国経済チームと行った。

【本文】

1. 内政

(1) 内閣改造

3月1日、フェルナンデス大統領は大蔵、教育、内務警察の閣僚や次官を含む政府職員の人事異動を行った。新しく任命された閣僚は以下の通り。

- (イ) 大蔵大臣：ダニエル・トリビオ（前バンコ・レザルバ銀行頭取）
- (ロ) 教育大臣：ホセフィーナ・ピメンテル（前INFOTEC専門学校校長）
- (ハ) 内務警察大臣：ホセ・ラモン・ファドウル（前商工大臣）

(2) 石油・食料品価格高騰への対応

3月17日、フェルナンデス大統領は演説を行い、石油と食品価格の高騰に対する国民の負担軽減策として、政府機関支出額の12%削減、公共バスの燃料を天然ガスへ変更する事、子供、妊婦、高齢者への栄養剤パッケージ配布、政府機関内でのエネルギー消費削減、発電量の増加による低コストでの電力供給等を発表した。

(3) 主要政党の動き

(イ) ドミニカ解放党（PLD）

・3月14日、党政治委員会は、2012年大統領選挙の党内予備選挙（6月26日）に向けた候補者選定を4月10日の党中央委員会で最終決定すると発表した。

・27日、（憲法の規定で禁止されている）自らの再選問題について、フェルナンデス大統領は、再出馬の決定を党の手に委ねると述べつつ、自らの再選支持の為に集まった2

20万以上の署名は、2004年から続くPLDの大統領選3連勝に寄与するであろう、と強調した。

(ロ) ドミニカ革命党 (PRD)

・3月6日、PRDは党大会を開き、2012年大統領選挙における同党候補を決定する党内予備選挙を実施したところ、メヒア元大統領が、バルガス党首を得票率53.44% (51万7250票) 対46.56% (45万650票) で上回ったが、バルガス陣営は20万以上のPLD党员が同予備選で投票したとして、選挙結果の無効を主張した。

・8日、党政治委員会は6日の選挙結果不承認の声明を発表すると共に、有効投票数の再集計を党大会主催委員会 (COC) に依頼した。

・21日、同政治委員会はエスケアCOC委員長の解任を発表した。

・29日、党規律委員会は同氏を“党規則への違反と党最高機関の決定への不服従”及び“COC委員長職の職権を濫用し、党の規律を乱した”者として、PRDから追放する旨決定した (当館注: 選挙結果の承認を巡る党内情勢の混乱により、3月末現在、PRDの大統領候補は正式に決定されていない)。

(ハ) キリスト教社会改革党 (PRSC)

・3月23日、同党若手のホープとされるビソノ下院議員が党内予備選への出馬を表明した。

・24日の党最高委員会は党内予備選の投票日を決定出来ず、改めて4月3日に選挙方式と開催日について議論することを決定した。

(4) 国会の動き

主に憲法裁判所 (Tribunal Constitucional) の制定及び国家司法審議会 (Consejo Nacional de la Magistratura: CNM) の権限決定に関する法律の議論を行った。

(イ) 憲法裁判所関連法案

・3月1日、下院は裁判官の75歳定年制を導入した憲法裁判所制定案に賛成し、上院に送付後、7日には上院も微修正を行った上で下院案を承認した。

・21日、フェルナンデス大統領は憲法裁判所での75歳定年制は国際条約と米州裁判所の人権規範に違反すると言明し、同法案を上院に差し戻した。

・30日、上院は同大統領の案に同意 (75歳定年制を撤廃) し、下院に同法案を送付した。

(ロ) 国家司法審議会関連法案

・国家司法審議会委員増員 (7→8人) に伴う重要案件の決定に関し、フェルナンデス大統領は同委員の票が同数である場合、同委員長 (共和国大統領) が最終決定を出来る様、法律の改正を上院に求めていたところ、3月2日、上院は同大統領案を承認し、下院へ送付した。

・15日、下院は同法案を与党PLDの過半数の賛成で一旦通過させるが、憲法102条及び112条は、憲法関連法案の下院における出席議員3分の2以上の賛成を求めており、同法案の過半数による可決は憲法違反となる可能性が高まった。

・28-29日、野党PRDが同法案の反対表明後、フェルナンデス大統領はPLD党所属の上・下院議員を集め、憲法の規定を遵守して同法案を可決する様指示した。

・30日、110の企業家、法曹界、市民団体が同法案の過半数による下院での可決に反対した。

(ハ) 年金基金流用法案

・3月15日、下院は年金基金を流用し、貧困層者用の住居を建設するための関連法案に関して修正案を可決し上院に送付した。

・30日、上院にて同法案が可決され、法制化の手続きが取られたが、31日、フェル

ナンデス大統領は同法案の公布手続きを一旦停止する旨発表した。

(5) 国勢調査について

(イ) 3月8日、国家統計局は2010年12月の当国総人口を937万8818人(男470万7921人、女467万897人)とし、2002年からの9年間でおよそ80万人の人口増加があったと発表した。

(ロ) 県別の人口上位は、サントドミンゴ県が235万9327人、サンチアゴ県が94万2509人、サントドミンゴ首都特別区が93万5058人であった。

(ハ) また、世帯数は309万7857となり、2002年からの9年間でおよそ65万世帯の増加があったと発表した。

(6) 疫病発生状況

(イ) コレラ

2011年1-10週は、感染疑いが1326人(先月から399人増)、感染者が415人(同136人増)、死者が6人(同2人増)であった。

(ロ) デング熱

2011年1-10週は、感染疑いが332人(昨年同時期比1626人減)、死者は0人(同7人減)であった。

(ハ) マラリア

2011年1-10週は、感染疑いが506人(昨年同時期比90人増)、死者は6人(同4人増)であった。

2. 外交

(1) アルブルケルケ副大統領のグアテマラ訪問

3月15日、アルブルケルケ副大統領はグアテマラを訪問し、SICA定例会合に出席した。同会合において、当国はSICA加盟国とともに麻薬・組織犯罪との闘いについて意見交換を行った。当国は、同会合に出席したバン・ギムン国連事務総長に対し、フェルナンデス大統領が提案している食料価格変動の要因となる世界的な投機を防止するための協定締結につき提案を行った。

(2) オルギン・コロンビア外務大臣の当国訪問

3月29日、オルギン・コロンビア外務大臣は当国を訪問し、フェルナンデス大統領と会談を行った。同会談において両者は、エネルギーや治安を中心に二国間関係全般について意見交換を行った。その後同外相は、ハイチ支援に関する国連安保理の会合に出席するため、30日にハイチの首都ポルトープランスを訪問した。

(3) 第1回気候変動に配慮した経済開発計画のための会合

3月1日、第1回気候変動に配慮した経済開発計画のための会合が開催され、アルブルケルケ副大統領が議長を務めた。同会合には、ドイツ環境省、熱帯雨林諸国連合、マッキンゼー社及び国家気候変動・クリーンエネルギー委員会が出席し、気候変動の要因となる二酸化炭素排出防止のための政策立案について議論が行われた。当国では、主に車両や工場からの排気ガス、そして牧畜業の拡大とそれに伴う熱帯雨林の伐採が主な二酸化炭素排出の要因となっている。

3. 経済

(1) 2010年経済指標

3月15日、中央銀行は2010年のマクロ経済指標を発表した。主な指標は以下の通り。

(イ) 主要指標

- ・国内総生産（GDP）：516.576億USD
- ・一人当たりGDP：5,231.6USD
- ・経済成長率：7.8%
- ・インフレ率：6.24%

(ロ) 財政収支

- ・歳入：69億2000万USD
- ・歳出：83億6200万USD
- ・財政赤字：11億5100万USD（GDPの約2.3%）

(ハ) 経常収支

- ・総輸出額：65億9810万USD（前年比20.3%増）
- ・総輸入額：152億9890万USD（前年比24.4%増）
- ・サービス収支：29億3590万USD（前年比1.7%減）
- ・所得収支：-17億8820万USD（前年比3.9%増）
- ・経常移転収支：31億1182万USD（前年比3.1%減）
- ・経常収支赤字：44億3490万USD（前年比90.2%増）

(ニ) その他主要指標

- ・観光収入（サービス収支内）：42億900万USD（前年比4.0%増）
- ・海外送金（経常移転収支内）：29億9400万USD（前年比1.6%減）
- ・海外直接投資（FDI）：16億2580万USD（前年比24.9%減）

(2) IMFスタンバイ協定

(イ) 3月21-24日、IMFのミッションが当国を訪問し、第5次スタンバイ協定のレビューに関する協議を行った。当初IMFは当国に対し、成長率5.5%以上、インフレ率GDP比6%以内、財政赤字GDP比3%以内の達成を求めていたが、最新の中央銀行のレポートによると、成長率は5%前後、インフレ率は10%超、財政赤字は8%超が予想され、同協定合意の遵守は難しくなった。

(ロ) その一方、同ミッションは17日のフェルナンデス大統領による12%の政府支出削減表明を支持し、当国政府から提案があった第5次協定合意内容の緩和について今後数週間検討を行う旨表明したが、当国における電力料金の回収不足とそれに伴う財政への悪影響には引き続き懸念を示した。

(3) 自動車関連

(イ) 3月3日、当国税関局（DGA）は製造から5年以上経過した中古車及び廃棄車からの組立による修理車の輸入禁止通知を行った。

(ロ) 17日、当国税務局（DGI）は2010年度（1月1日-12月31日）のドミニカ（共）における車両総登録台数（Parque Vehicular 2010）を発表した。

(ハ) 20日、ドミニカ自動車仕入業者協会（ANADIVE）のサントス会長は、現在の燃料費高騰が自動車販売に悪影響を与えているとして、当国政府に対し製造後10年迄の中古車の輸入を認めるよう働きかける旨発言した。

(ニ) 一方21日、ドミニカ自動車メーカー特約店協会（ACOFAVE）のフェルナンデス会長は、中古車輸入の拡大が税収の低下と環境破壊を招くとして、上記サントス会長の提案に反対した。

(4) 天然ガス燃料

(イ) 3月30日、17日のフェルナンデス大統領演説を受け、当国の代表的な天然ガス輸入業者であるAESドミニカーナ社は、20,000台の公共輸送機関の燃料をすぐに天然ガスへ変更可能であると述べた。

(ロ) 同社デラロサ社長によると、ドミニカ（共）は2000年以降の10年間でエネルギー供給に占めるガソリンの割合を90%から47%まで減らしたのに対し、天然ガスはゼロ%から27%まで伸びた。また、同社長はドミニカ電力公社（CDEEE）への天然ガス供給に関し、契約額から年間10万ドルを割引する旨同社と合意したとも述べた。

(5) 鉱業関連

(イ) 3月14日、バリックゴールド社はプエブロ・ビエホ鉱山における掘削機械の設置が予定の53%、鉱物取出設備の完成は95%に達し、今年度中に金を中心とした鉱物の採掘再開が可能である旨発表した。

(ロ) 29日、エクストラータ（旧ファルコンブリッジ・ドミニカーナ社）社は自社のフェロニッケル生産能力がフル稼働時の50%に達し、年末までに1万2400トンの生産が可能である旨発表した。

(6) 観光業関連

(イ) 3月8日、世界経済フォーラム（WEF）は旅行・観光競争力指数（TTCI）2011年度版を発表し、ドミニカ（共）は、世界133か国中72位（前年比6位下降）、ラテンアメリカ諸国19か国中10位（同1位下降）となった。ラテンアメリカの上位4位はメキシコ、コスタリカ、プエルトリコ、ブラジルであった。同ランクはa)法整備、b)ビジネス環境とインフラ、c)人間、文化、自然環境の3分野における充実度から決定された。

(ロ) 11日、ベルリンで開催されている観光フェア（ITB）に出席していたガルシア観光相は記者会見し、ドミニカ（共）の観光業はエネルギーのコスト高、インフラ及び宣伝不足の問題に直面していると語った。

(ハ) 23日、“エネルギー再利用を目指すドミニカ企業グループ”代表のグイド氏は会見で、ドミニカ（共）のホテル業界の売上に対するエネルギーコスト負担の割合は32-35%に達しており（他国同業者は8-12%）、ホテル側は止むを得ず10ドルの“燃料代”を宿泊費に加算していると述べた。

(ニ) 3月下旬、中央銀行は2011年1-2月度における海外からの観光客数が前年同月比2.14%増の計81万7154人であったと発表した。最も観光客数が多かったのは北米（57.56%）からで、続いて欧州（29.92%）、南米（9.32%）、中米とカリブ海地域（2.96%）となった。最も利用者数が多かった空港は、プンタカナ（61.70%）で、続いてラスアメリカ（17.4%）、プエルト・プラタ（11.84%）であった。

以上